

日時	令和2年11月20日(金)		
学年・組	第3学年A(男子2名 女子12名 計14名)		
単元名	Welcome to Jinsekikogen Travel Agency ～行きたい(紹介したい)場所についてスピーチをしよう～		
教科における見方・考え方	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること		
単元で育成する力	学習指導要領 内容 話すこと【発表】 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。		
単元に係る生徒の状況と指導	これまでの授業では、ペアでの活動は活発だが、全体の前でスピーチをすることは苦手意識を持つ生徒が多い。また、英語の文を書くことが苦手な生徒が多く、前単元の既習事項である関係代名詞は語順で悩む生徒が多かった。そこで、「ぐんぐんtime」において、実際の生活とのつながりを意識させ、生徒が話してみたいと思う場面設定をし、ペアで活動させた。その後に一人に指名してインタビューをすることで、生徒一人一人に自信をつけさせるよう取り組んだ。更に、単元毎に書かせる取り組みを仕組んだりしてきた。 9月に実施したオーストラリアの姉妹校とのウェブ会議では、チームに分かれて日本文化をプレゼンした。やりきった達成感と、聞き手のオーストラリアの生徒からまた神石高原中学校の3年の生徒とウェブ会議がしたいとの反応があったことで、自信をつけ、英語を手段としてコミュニケーションをはかる楽しさを生徒全員が知ることができた。次回のウェブ会議に向けても、パワーポイントを使ったプレゼン練習をかね、書く力、相手に効果的に伝わるようにスピーチをするための練習としてこの単元を設定した。		
単元の観点別評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	言語・文化についての知識理解
	・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。	・関係代名詞を含む文を使って、行きたい(紹介したい)場所について、聞き手に効果的に伝わるようにスピーチすることができる。 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。	・関係代名詞を用いた文の構造を理解している。

探究活動に係る、単元を貫く指導と評価(全4時間)

探究過程	回数	生徒の活動	生徒の思考	教師の支援等	評価規準【方法】	コ	主	ア
課題設定	1	・旅行案内を聞いて、話の内容をつかみ、魅力的なツアーを考える。	・どんな旅行プランかな。 ・ツアーガイドになって、どんな旅行プランを考えようかな。	・繰り返し聞かせたり、スクリーンを参考にさせたりすることで、どのように場所を紹介するかイメージさせる。	言語・文化についての知識理解 【活動の様子】 【ワークシート】			
情報収集整理分析	2	・旅行プランの決定とプレゼンテーションの内容作成を行う。	・自分も行きたくなる魅力的なツアーを考えよう。 ・場所が決まったら、そこで何ができるか調べてみよう。	・文の構成を意識して、旅行プランを書くことができるようにヒントシートを用意する。	言語・文化についての知識理解 【活動の様子】 【ワークシート】			
まとめ創造	3	・プレゼンテーションの原稿の構成を考えて英文を書く。	・魅力的なプレゼンテーションのために、パワーポイントや小道具を使ってみよう。	・グループ毎の原稿を確認し、アドバイスをする。	言語・文化についての知識理解 外国語表現の能力 【ワークシート】			
表現実行振り返り	4	・「おすすめ旅行プラン」の提案を行う。 【本時】	・自分とは違う視点でおもしろいな。 ・こんな場所があったのか、社会の資料集で調べてみよう。	・互いに評価させるとともに、教師からも評価をする。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外国語表現の能力 【活動の様子】 【ワークシート】		○	

本時の授業展開(4/4時間目)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準【評価方法】
<b>1 ぐんぐんtime(復習)</b> ①Mini-Talk	・既習内容を用いてQ-A活動を行わせる。 ・他者と交流させる。	
<b>2 つかむ 見通す</b> ②Picture Description	・画像を見せながら、画像の描写を関係代名詞を用いて述べさせる。	
<b>3 課題解決</b> ③本時の目標を確認する。		
<b>本時の目標(本時の課題)「To be able to make a presentation on the recommended travel plans」</b>		
④評価シートを確認する。	・聞き手を意識した発表になるようにさせる。  コミュニケーションを円滑にする言語の働きについても注目させる。  ex) We would like to talk about three things. First, Second, Finally・・・ Today I'm going to tell you about・・・ First of all, please look at this. You won't be disappointed.	・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 【活動の様子・発表】
⑤グループ毎に発表する。	・それぞれのテーマに沿って「おすすめ旅行プラン」の提案をさせる。	・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 【活動の様子・発表】
<b>4 振り返り</b> ⑥評価シートに自分達の発表や他のグループの発表を通して学んだことをまとめる。	・空欄に記入させる。	
(期待されるまとめ) 相手に伝わる発表にするためには、結論先行型で文の構成をすることが大切だとわかった。関係代名詞を使って表現すると、1文でより詳しい情報を伝えることができるとわかった。		
⑦評価シートに振り返りをする。		
(期待される振り返り) 聞き手を意識して発音すること、関係代名詞を使っておすすめの旅行プランの提案をすることができた。初めて知った場所をもっと詳しく調べてみたい。また、今回の反省を活かし、オーストラリアのBCCとウェブ会議をする時にも、聞き手を意識したプレゼンテーションをしたい。		
⑧次回の授業内容を確認する。 ⑨復習、予習のイメージを持つ。 ★★【復習・予習内容】毎日英語ノート。 教科書P.70の予習をする。	・見通しを持たせる。	